

# トヨタ純正

## リヤスポイラー

### 取付要領書

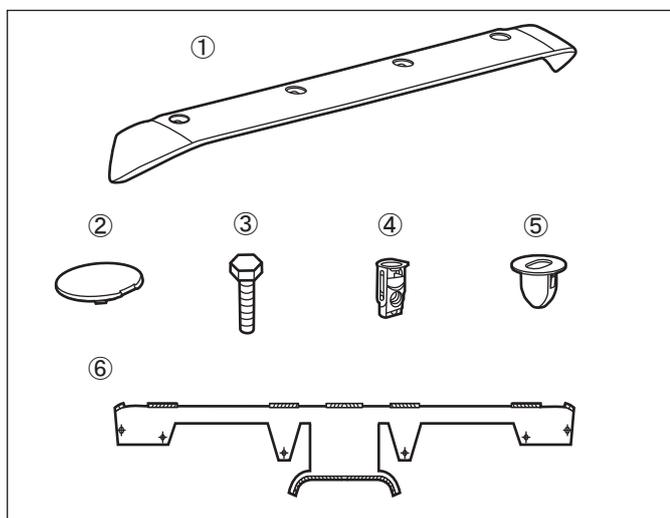
このたびは、トヨタ純正「リヤスポイラー」をお買い上げいただきありがとうございます。  
本書は、「リヤスポイラー」の取り付け要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

#### 品番

品番

08150-26070

#### 構成部品

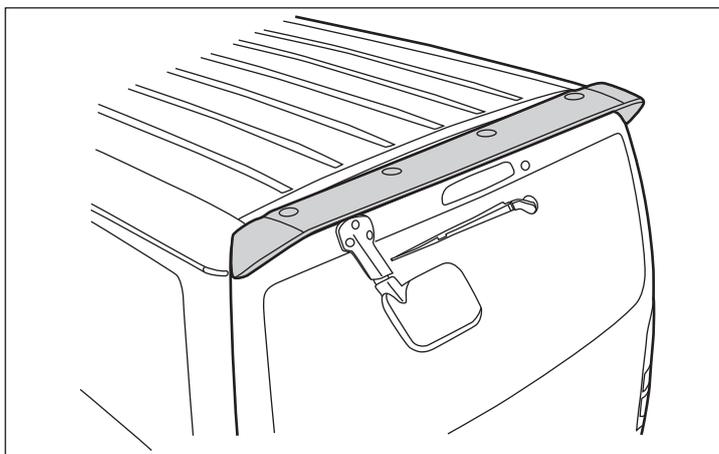


No.	品名	品番	個数
①	リヤスポイラー	—	1
②	カバー	—	4
③	ボルト (M6×28mm)	90119-06846	4
④	ターンナット (M6)	—	4
⑤	グロメット	—	2
⑥	型紙	—	1

#### 取付に必要な工具等

- ・一般工具
- ・ビニールシート
- ・マスキングテープ
- ・脱脂剤等
- ・ガムテープ
- ・ドリル(φ3、φ10)
- ・ホールソー(φ12)
- ・マグネットハンド
- ・ケブラー手袋
- ・ガスケツスクレーパー
- ・ドライヤー(外気温が15°C以下の場合)
- ・ヤスリ
- ・防錆剤
- ・新聞紙
- ・ウエス
- ・ポンチ
- ・ハンマー
- ・脚立
- ・保護メガネ
- ・クリップリムーバー

#### 取付概要



#### 始業点検

リヤワイパー、ハイマウントストップランプ等、電気系統の作動確認を実施してください。

トヨタ自動車株式会社

## 取付上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

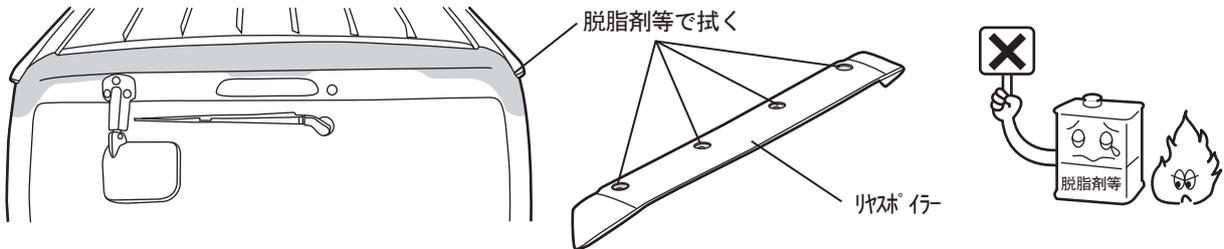
**⚠ 注意** ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷するなどの恐れがあることを記載しています

**👉 アドバイス** ……スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

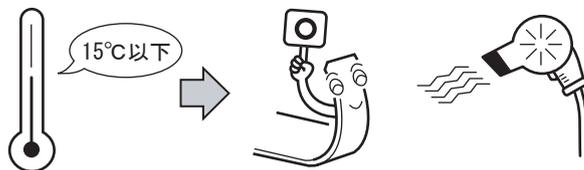
1. 車両部品の取り外しに際して、ビスやクリップ類の紛失や混乱がないように部品毎に整理して、復元する際間違えないように配慮してください。また、部品に傷をつけたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。
2. バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

### 取り付ける前に

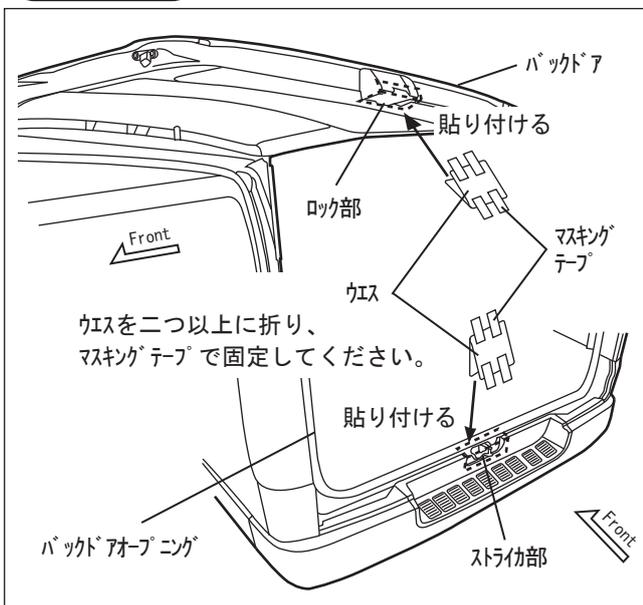
- ・ 車両部品の脱着およびリヤスポイラーの取り付け時の傷付き防止のため、作業前にビニールシートを準備して、取り付け作業は必ずビニールシートの上で行ってください。また、取り付け作業時には、車両部品に傷を付けないよう充分注意してください。
- ・ リヤスポイラーを取り付けるバックドアパネルおよびリヤスポイラー図示箇所を脱脂剤等を使用して拭いてください。その際、火気を近づけないよう充分な注意をしてください。



- ・ 外気温度が15°C以下の場合はテープの接着力が低下しますので、接着テープおよび取り付け面をドライヤー等で暖めて取り付けてください。



## 取付要領

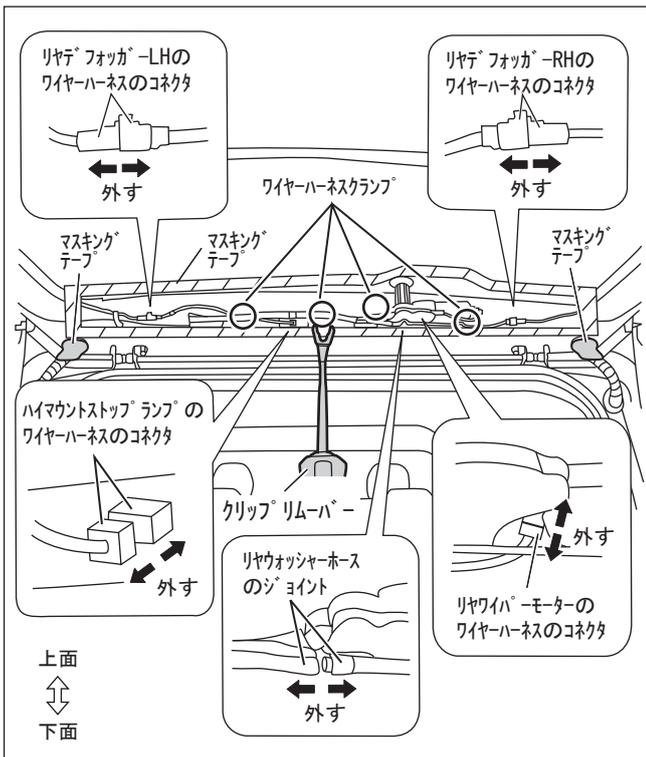
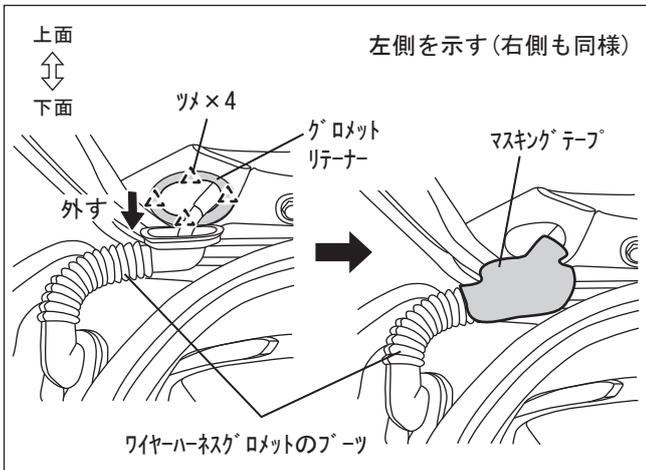
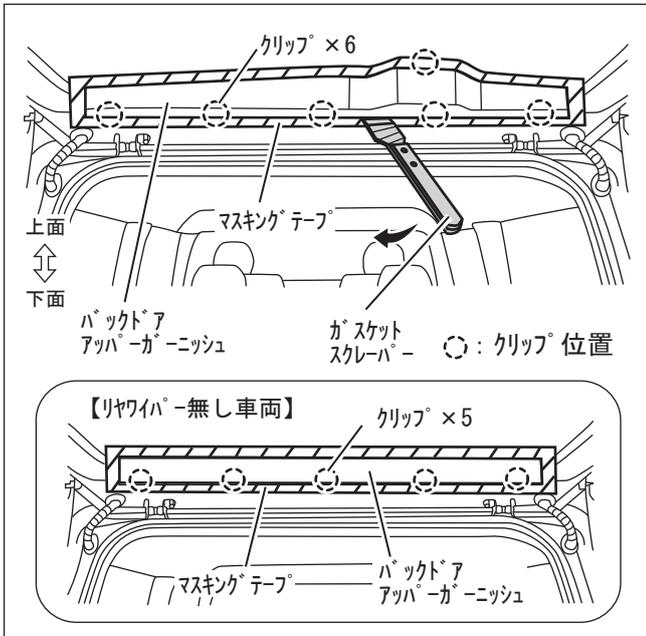


### バックドアロック機能の解除

1. バックドアを開ける。
2. フードパネルを開け、バッテリーの(-)側ケーブルを外す。
3. 図に従い、バックドアのロック部とバックドアオープニングの下側のストライカ部に、ウエスをマスキングテープで貼り付ける。

### ⚠ 注意

バッテリーを外してバックドアを閉めるとバックドアが開かなくなりますので、バックドアがロックしないようにバックドアを開けて、バックドアのロック部とバックドアオープニングの下側のストライカ部にウエスをかぶせてください。取り付け作業中はバックドアをゆっくりと下げるようにしてください。

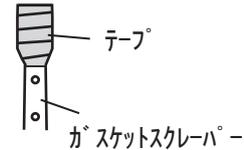


## 車両部品の取り外し

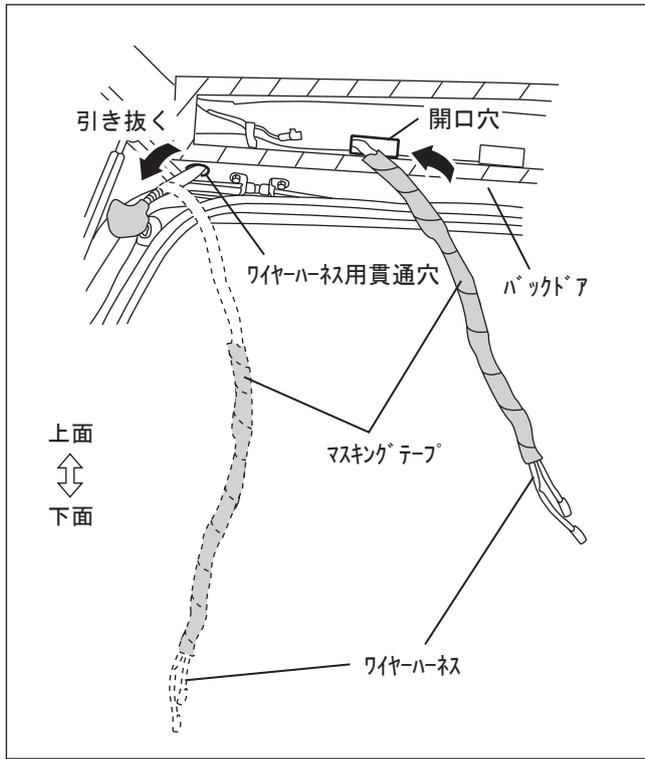
1. 傷付き防止のため、図示位置にマスクingテープを貼る。
2. 図に従い、バックドアアッパーガーニッシュのクリップ(6カ所)の嵌合をガスケットスクレーパーを使用して外し、バックドアアッパーガーニッシュを取り外す。(リヤワイパー無し車両は、バックドアアッパーガーニッシュのクリップ(5カ所)の嵌合をガスケットスクレーパーを使用して外し、バックドアアッパーガーニッシュを取り外す。)

### ⚠注意

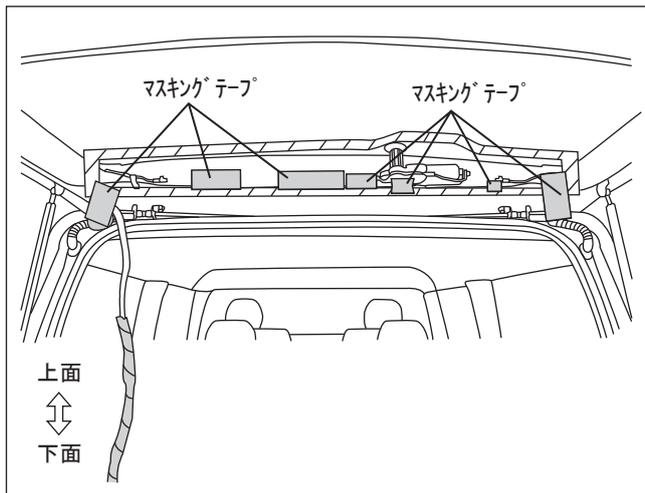
- ・取り外したバックドアアッパーガーニッシュは再使用しますので、大切に保管してください。
- ・取り外したバックドアアッパーガーニッシュのクリップが車両に残った場合は、クリップを車両から全て取り外してバックドアアッパーガーニッシュに再セットしてください。
- ・バックドアパネルとガスケットスクレーパーの支点部分に無理に力を加えると、バックドアパネル表面の傷付きおよびバックドアアッパーガーニッシュのクリップ破損の原因となりますので、注意して作業を行ってください。
- ・傷付き防止の為、ガスケットスクレーパーの先端にテープを巻いてください。



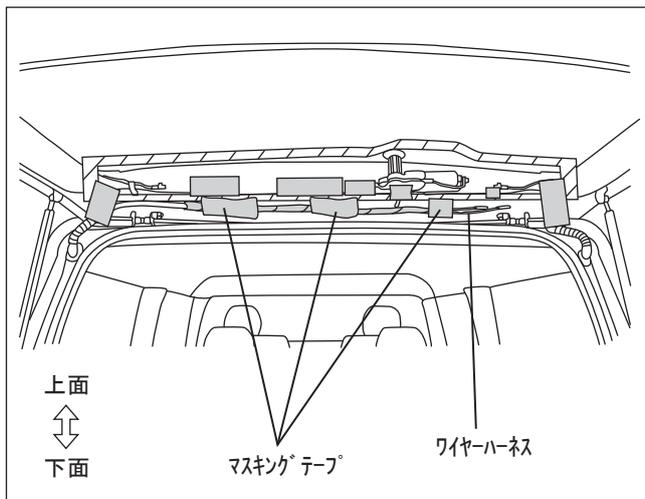
3. 図に従い、バックドア上部左側のワイヤーハーネスクランプのブーツを外し、グロメットリテーナーのツメ(4カ所)の嵌合を外し、ワイヤーハーネスクランプのブーツを再セットしてマスクingテープでふさぐ。
4. 同様に右側も作業する。
5. ワイヤーハーネスクランプ(4カ所)をクリップリムーバーを使用して外す。
6. リヤデフォグ付車両は、リヤデフォグ LHのワイヤーハーネスのコネクタおよびリヤデフォグ RHのワイヤーハーネスのコネクタを外す。
7. ハイマウントストップランプのワイヤーハーネスのコネクタを外す。
8. リヤワイパー付車両は、リヤワイパーモーターのワイヤーハーネスのコネクタおよびリヤワイパーモーターのワイヤーハーネスのジョイントを外す。



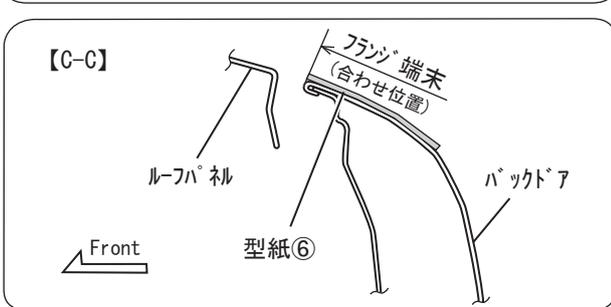
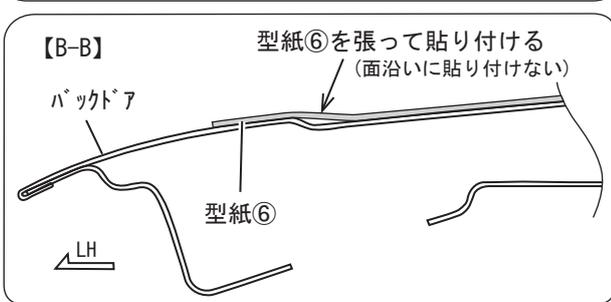
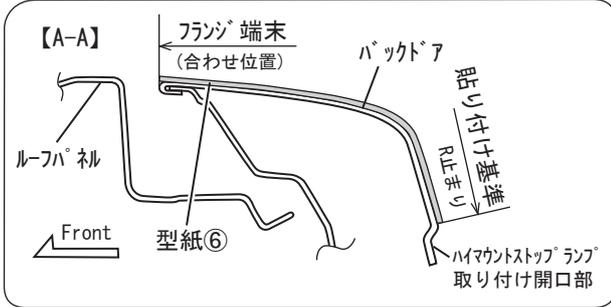
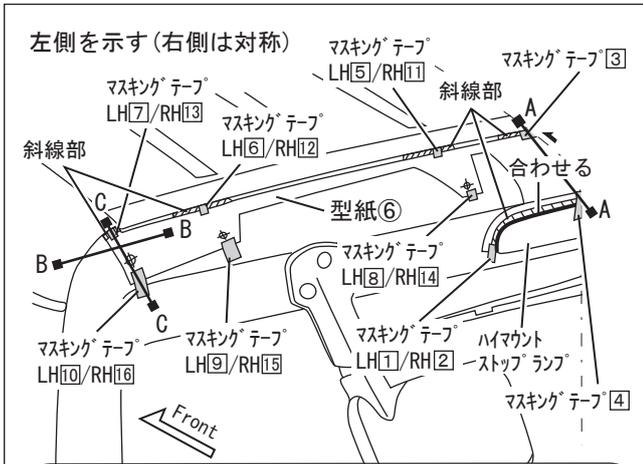
9. 図に従い、ワイヤーハーネスの各分枝を全てマスキングテープで束ね、ワイヤーハーネスを図示の開口穴からワイヤーハーネス用貫通穴を通して外側に全て引き抜く。



10. 図に従い、バックドアインナーパネル上部のワイヤーハーネス用貫通穴および開口穴、バックドアトリムアップパーガーニッシュ取付用穴の全てをマスキングテープでふさぐ。



11. 図に従い、9. で束ねたワイヤーハーネスを図示位置にマスキングテープで固定する。



## バックドアの加工

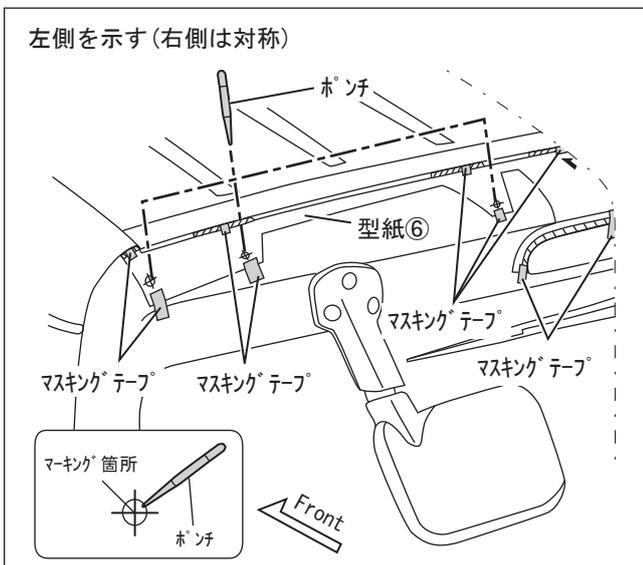
1. バックドアをゆっくりと下げる。
2. 図に従い、ハイマウントストップランプ取り付け開口部のR止りに型紙⑥の中央下側斜線部の端末(1カ所)を合わせ、型紙⑥の①と②をマスキングテープで貼り付ける。(A-A断面参照)
3. 型紙⑥の上側斜線部の端末(7カ所)とバックドアのフランジ端末を合わせながら、型紙⑥の③～⑬の番号順に型紙⑥をマスキングテープで貼り付ける。(B-B、C-C断面参照)

### ⚠ 注意

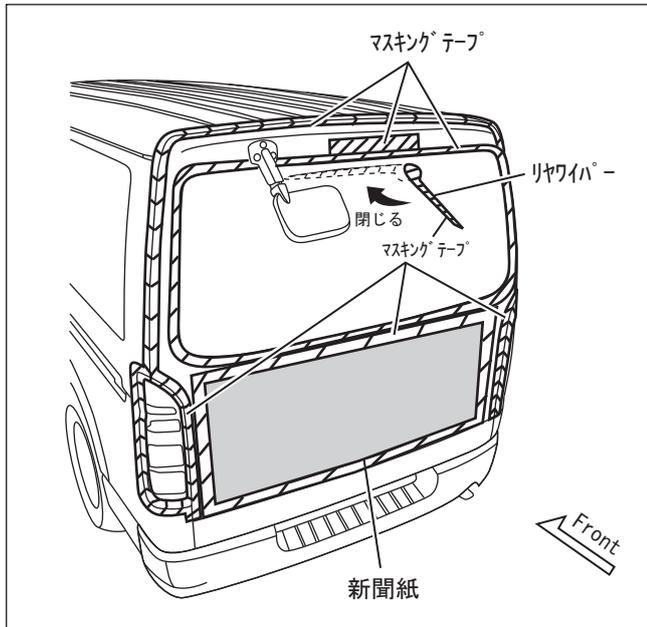
- ・車両上部の作業を行う際は、脚立を使用し正確に作業を行ってください。
- ・バックドアを下げる際は、車両左右のワイヤーハーネスグロメットがボデーとバックドアに噛み込まないように注視しながらバックドアを下げてください。

### 👉 アドバイス

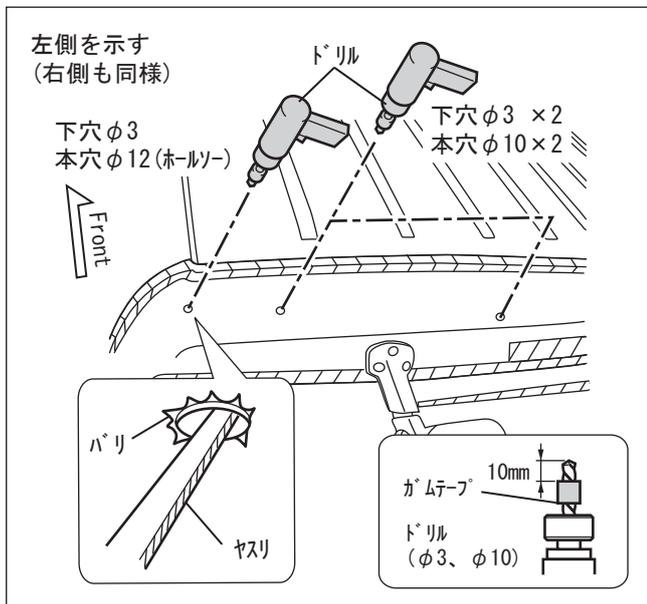
型紙の貼り付けは、ハイマウントストップランプ取り付け開口部のR止りを基準にして下側から上側の順に貼り付けると、位置が決まりきれいに仕上がります。



4. 型紙⑥のマーキング位置(左右各3カ所)の中心をポンチでマーキングする。
5. 型紙⑥を剥がす。



6. 図に従い、バックドアパネルとバックドアウインドおよびリヤコンビランプの隙間をふさぐようにマスキングテープを貼る。
7. バックドア表面のエンブレム、ライセンスランプおよびライセンスプレートをふさぐように新聞紙をあて、マスキングテープを貼る。
8. ハイマウントストップランプ表面をマスキングテープでふさぐ。
9. リヤワイパー付車両は、ブレードに切り粉が付着しないように、リヤワイパーブレードを一旦立ててマスキングし、リヤワイパーブレードを閉じる。



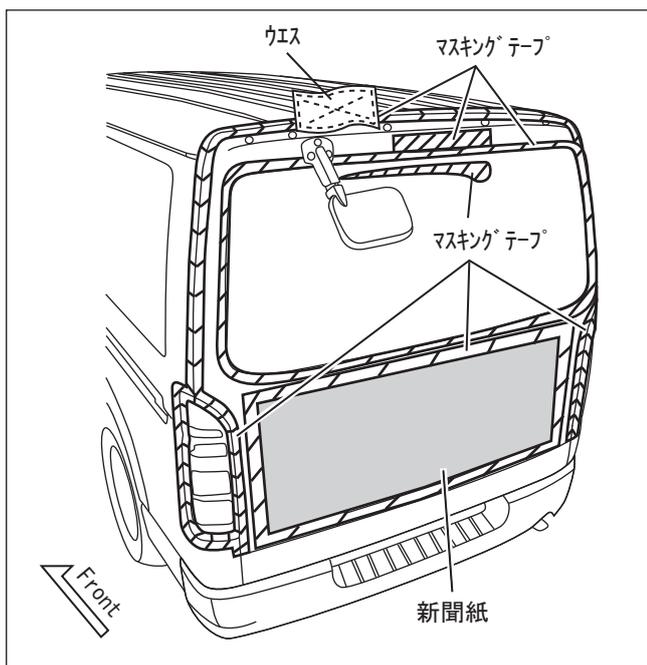
10. 図に従い、ドリル(φ3、φ10)にストッパーとなるようガムテープを巻き付ける。
11. 図に示す、4. でマーキングした箇所(左右各3カ所)にバックドア表側からφ3の下穴を開ける。
12. 11. で下穴を開けた車両中央側の箇所(左右各2カ所)にバックドア表側からドリル(φ10)で本穴を開ける。
13. 11. で下穴を開けた車両外側の箇所(左右各1カ所)にバックドア表側からホールソー(φ12)で本穴を開ける。
14. 本穴を開けた箇所(左右各3カ所)のバリをヤスリで取り、防錆剤を塗る。

#### ⚠ 注意

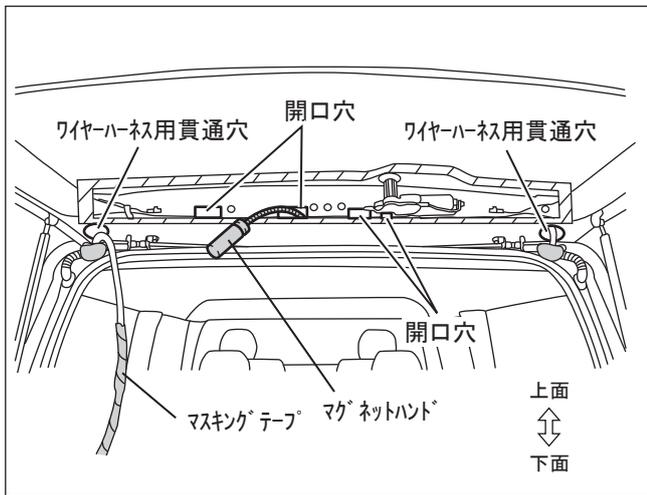
切り粉が目に入らない様に保護メガネを着用してください。

#### 👉 アドバイス

防錆剤が完全に乾いてから、次の作業を行ってください。



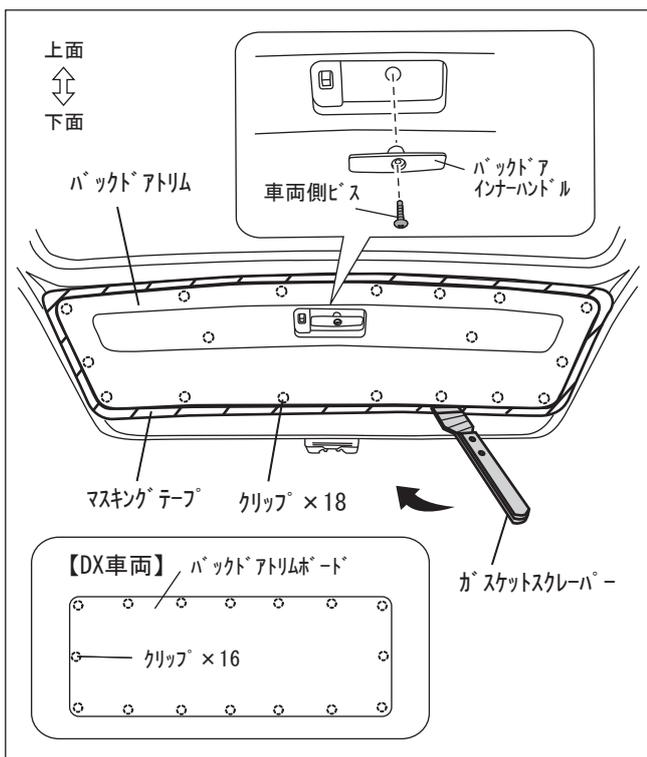
15. ボデー表面に飛散した切り粉をウエスを使用して除去する。
16. 6. ~ 9. で貼り付けた新聞紙とマスキングテープを全て剥がす。



17. バックドアをゆっくりと開ける。
18. P4の10. と11. で貼り付けたマスキングテープを全て剥がす。
19. バックドアインナーパネル上部のワイヤーハネス用貫通穴および開口穴全てにマグネットハンドを挿入し、バックドアパネル内の切り粉をまんべんなく取り除く。

### ⚠ 注意

バックドアアッパーガーニッシュ部の復元はこの後の作業になりますので、P3の1. で貼り付けたマスキングテープはここでは剥がさないように注意してください。

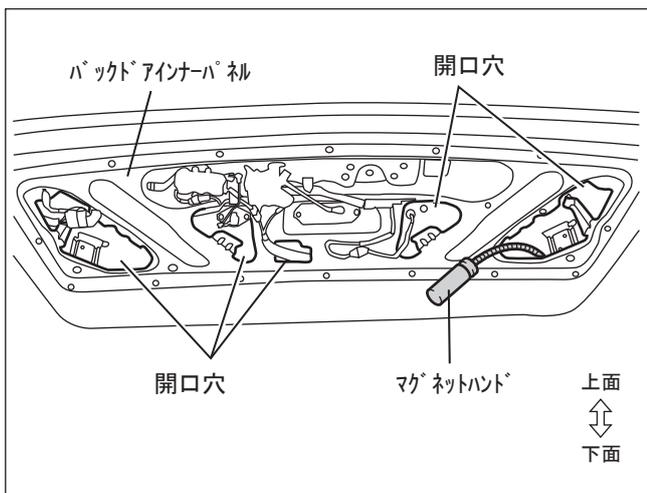


### バックドアトリムの取り外し

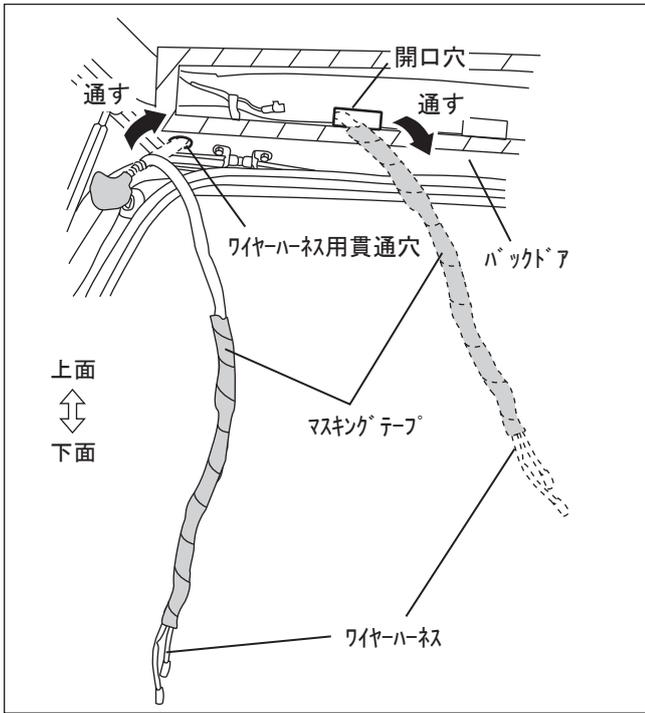
1. 傷付き防止のため、図示位置にマスキングテープを貼る。
2. バックドアインナーハンドルの取り付け車両側ビス(1本)を取り外し、バックドアインナーハンドルを取り外す。(DX車両の場合は無し)
3. バックドアインナーパネルとバックドアトリム(DX車両の場合はバックドアトリムボード)の隙間にガスケットスクレーパーを入れ、クリップ(18カ所)(DX車両の場合は16カ所)を外し、バックドアトリム(またはバックドアトリムボード)を取り外す。

### ⚠ 注意

取り外した車両側ビス(1本)、バックドアインナーハンドルおよびバックドアトリム(またはバックドアトリムボード)は再使用しますので、大切に保管してください。

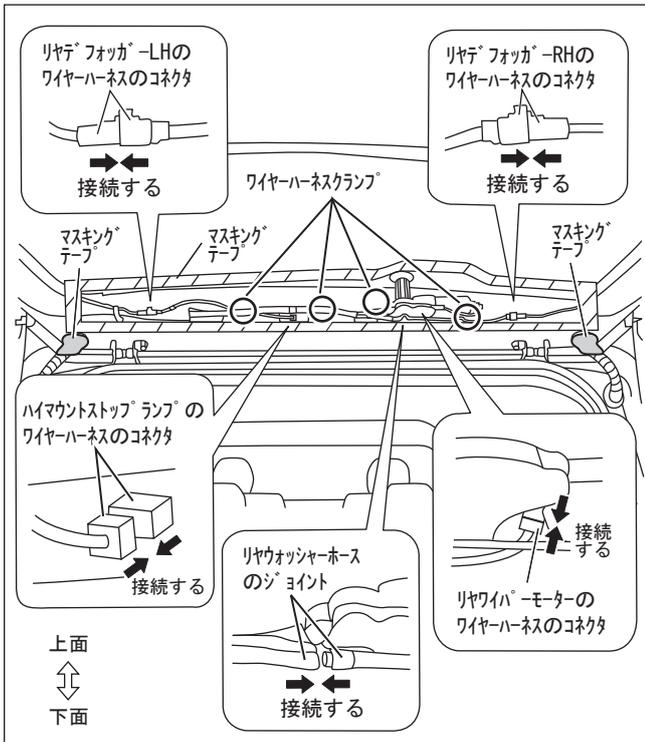


4. 図に従い、バックドアインナーパネル下側の開口穴全てにマグネットハンドを挿入し、バックドアパネル下部内に落ちた切り粉をまんべんなく取り除く。

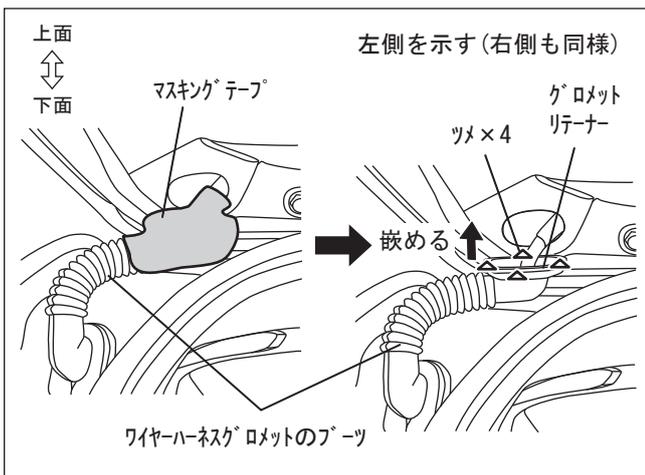


## 車両部品の復元

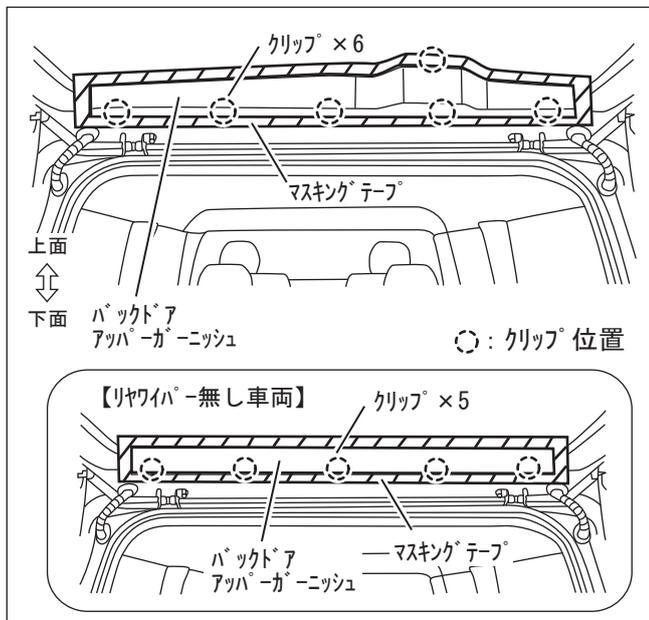
1. 図に従い、ワイヤーハーネスを図示のワイヤーハーネス用貫通穴から開口穴まで通す。
2. ワイヤーハーネスを束ねたマスキングテープを剥がす。



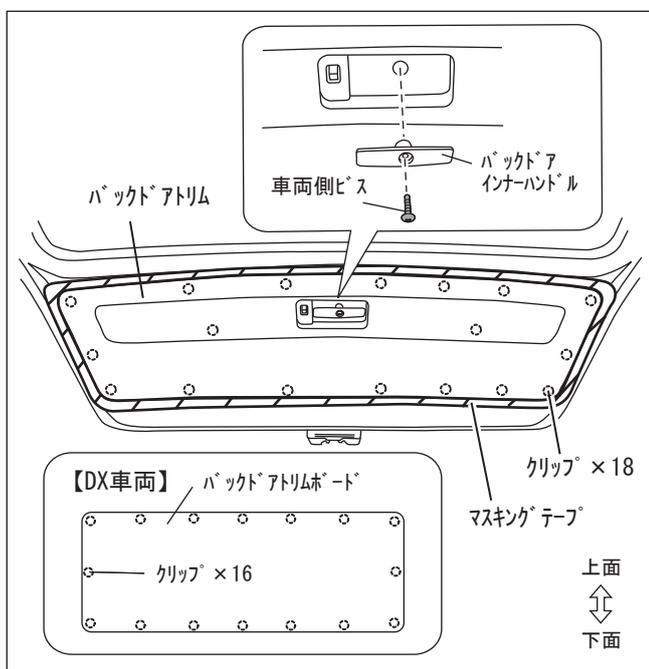
3. ワイヤーハーネスクランプ(4カ所)を取り付ける。
4. リヤデフォッガー付車両は、リヤデフォッガーLHのワイヤーハーネスのコネクタおよびリヤデフォッガーRHのワイヤーハーネスのコネクタを接続する。
5. ハイマウントストップランプのワイヤーハーネスのコネクタを接続する。
6. リヤワイパー付車両は、リヤワイパーモーターのワイヤーハーネスのコネクタおよびリヤウォッシャーホースのジョイントを接続する。



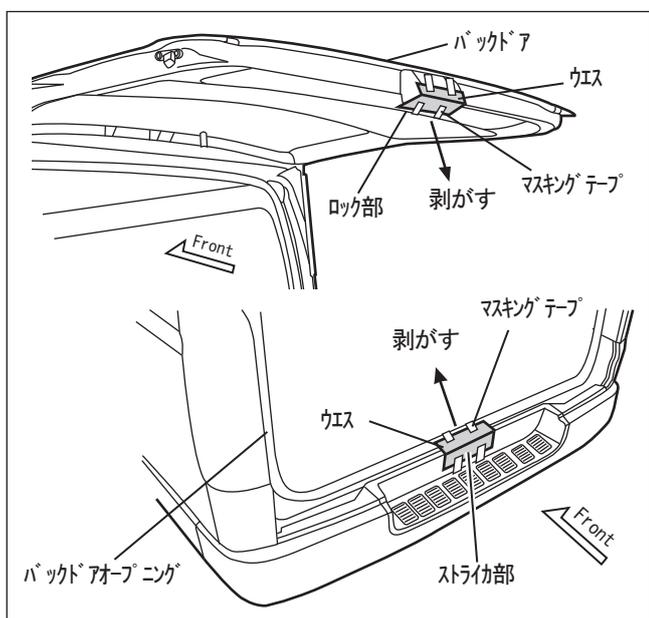
7. 図に従い、バックドア上部左側のワイヤーハーネスグロメットのブーツに貼り付けたマスキングテープを剥がし、グロメットリテーナーのツメ(4カ所)を嵌合しワイヤーハーネスグロメットのブーツを取り付ける。
8. 同様に右側も作業する。



9. バックドアアッパーガーニッシュのクリップ(6カ所)を嵌合し、バックドアに復元する。(リヤワイパー無し車両は、バックドアアッパーガーニッシュのクリップ(5カ所)を嵌合し、バックドアに復元する。)
10. バックドアアッパーガーニッシュ周りのマスクingテープを全て剥がす。

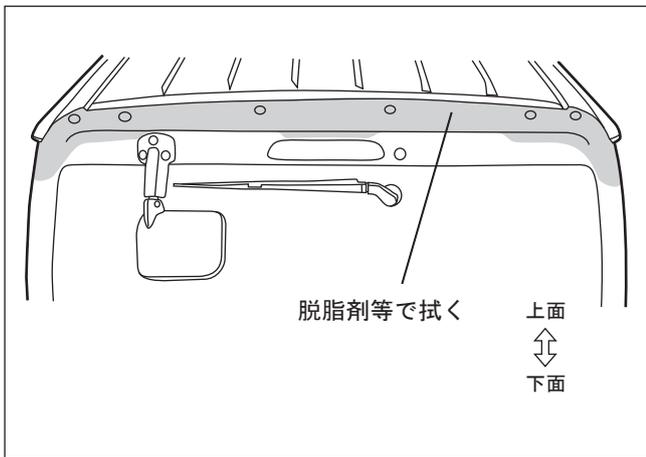


11. バックドアインナーパネルとバックドアトリム(DX車両の場合はバックドアトリムボード)のクリップ(18カ所)(DX車両の場合は16カ所)を嵌合する。
12. バックドアインナーハンドルをセットし、取り付け車両側ビス(1本)でバックドアインナーハンドルを取り付ける。(DX車両の場合は無し)
13. バックドアトリム(DX車両の場合はバックドアトリムボード)のマスクingテープを全て剥がす。



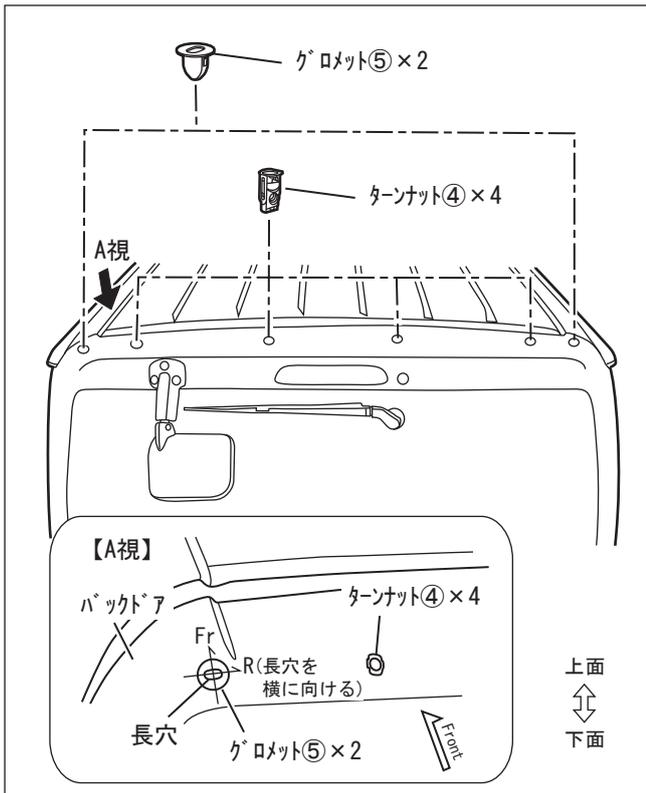
### バックドアロック機能の復元

図に従い、バックドアのロック部とバックドアオープニングの下側のストライカ部に貼り付けてあるウエスを剥がす。



## リヤスポイラーの取り付け

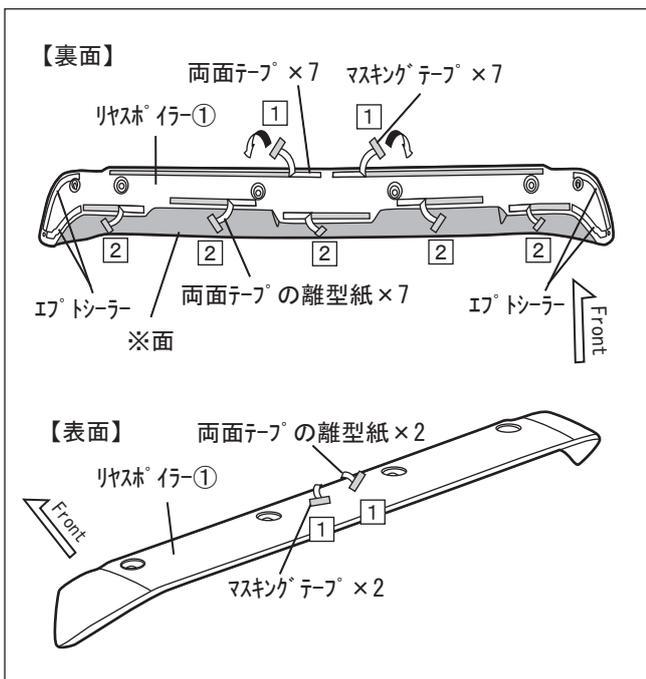
1. バックドアを閉め、図示範囲を脱脂剤等を使用し脱脂する。



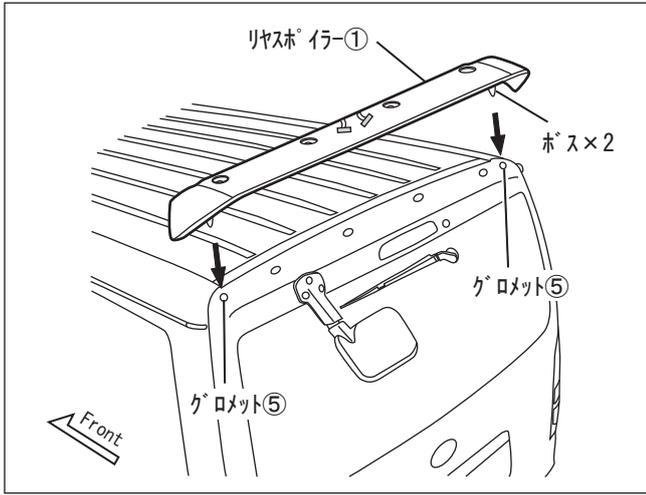
2. 図に従い、φ10の本穴を開けた箇所(4カ所)にターンナット④(4個)を取り付ける。
3. φ12の本穴を開けた箇所(2カ所)にゲロメット⑤(2個)を長穴が横方向になるように取り付ける。

### アドバイス

車両上部に作業を行う際は、脚立を使用し正確に作業を行ってください。



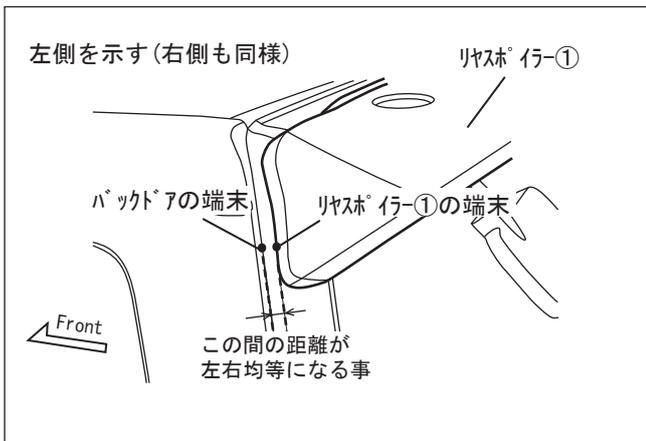
4. 図に従い、リヤスポイラー①の裏面の両面テープの離型紙(7カ所)を50mm程度めくり、**①**(2カ所)は表面に、**②**(5カ所)は裏面の車両後方の面(図中の※面)にマスキングテープで固定する。



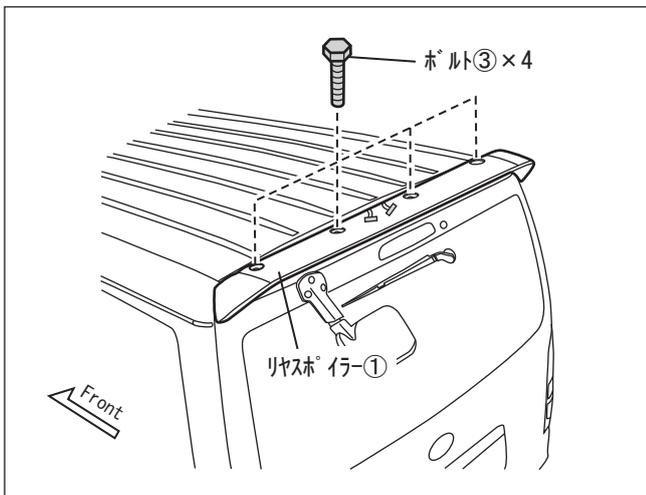
- リヤスポイラー①の裏側両端のボス(2カ所)を、バックドアに取り付けたグロメット⑤(2個)に嵌合する。

**△ 注意**

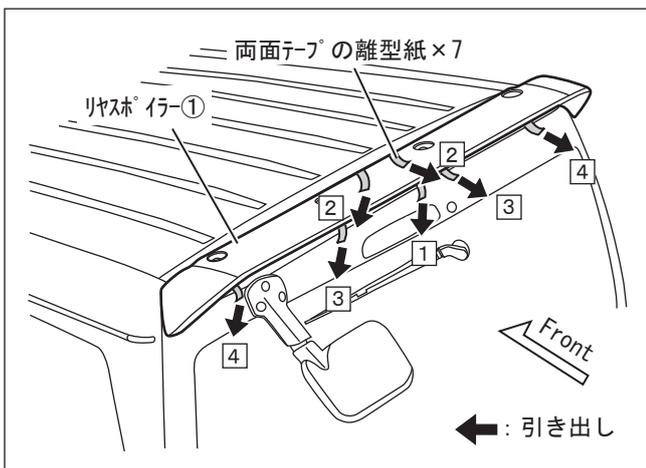
リヤスポイラー①の両端のボスがグロメット⑤(2個)に確実に嵌合している事を確認してください。



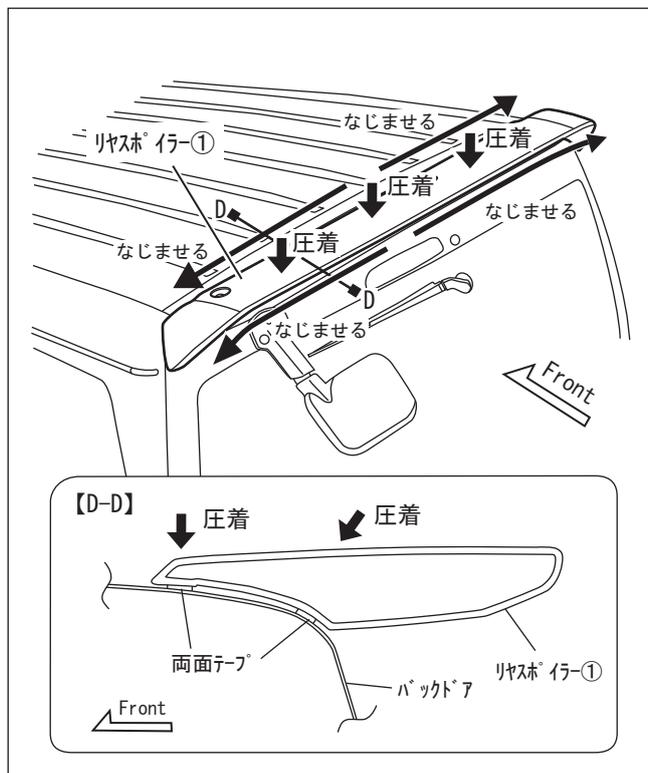
- リヤスポイラー①の端末とバックドアの端末との距離が左右均等になるように調整する。



- リヤスポイラー①の位置をずらさないように注意しながら、リヤスポイラー①の上部をボルト③(4本)で仮締めする。



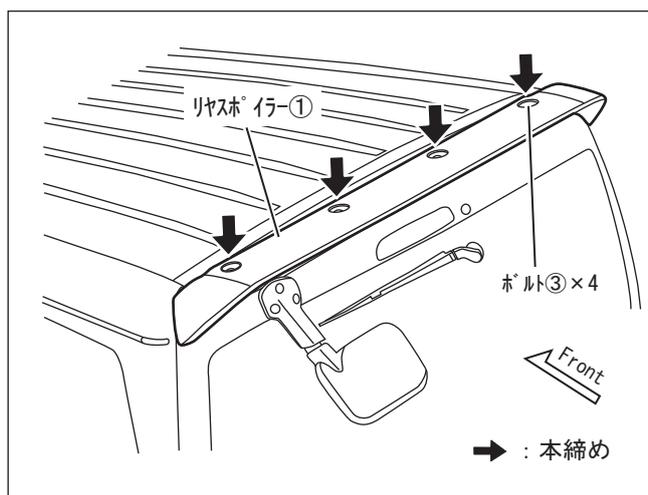
- 図に従い、リヤスポイラー①へマスキングテープで固定しておいた両面テープの離型紙(7カ所)を①～④の順で剥がす。



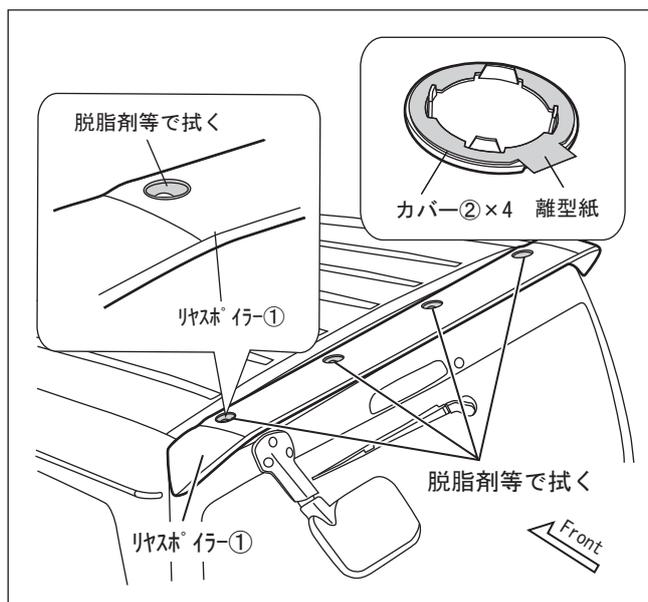
9. 図に従い、リヤスポイラー①の両面テープ(7カ所)を49N(5kgf)以上で圧着する。その際、リヤスポイラー①をバックドアになじませるように車両内側から外側に向かって圧着する。

**⚠注意**

両面テープ(7カ所)は確実にバックドアパネルに圧着させてください。

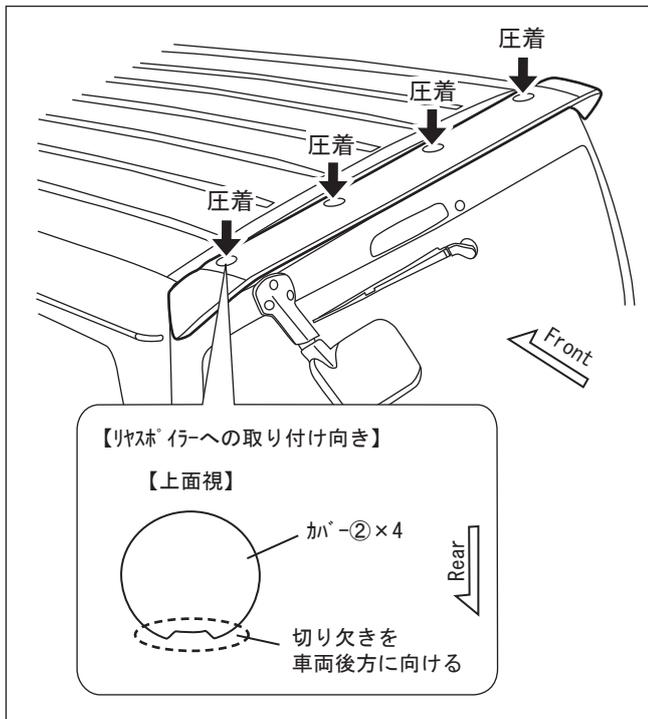


10. リヤスポイラー①の仮締め状態のボルト③(4本)を車両中央から外側の順番で本締めする。



11. リヤスポイラー①の図中に示す箇所(4カ所)を脱脂剤等を使用し、脱脂する。

12. カバー②(4個)の裏側の両面テープの離型紙を全て剥がす。



13. 11. で脱脂した箇所(4カ所)にカバー②(4個)の切り欠きが車両後方に向くようにカバー②(4個)をセットし、49N(5kgf)以上で両面テープ部を圧着する。

## 取付完了後の点検・注意事項

1. リヤスポイラーが車両に両面テープおよびボルト、ターンナットで確実に固定されているか点検する。
2. 取り付けの際、リヤスポイラーおよび車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. バッテリーの(-)側ケーブルを接続する。
4. ハイマウントストップランプが正常に機能するか点検する。
5. リヤワイパー付車両は、リヤワイパーおよびリヤワイパーウォッシャーが正常に機能するか点検する。
6. リヤデフォグガー付車両は、リヤデフォグガーが正常に機能するか点検する。
7. 電動ドアロックが正常に機能するか点検する。

## バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。